

くにたち 公民館 だより



発行
 国立市公民館
 〒186-0004
 国立市中1-15-1
 ☎ 042-572-5141
 FAX 042-573-0480
 休館日：毎週月曜日

〈食の安全と安心を考えるシリーズ2〉 講演要旨 (平成25年10月19日実施)

タネが危ない！ お話 野口 勲 (野口種苗研究所代表)

〈食の安全と安心を考えるシリーズ〉第2弾として、タネの性質、人がかけあわせたタネ、タネの流通やビジネスなど、タネを取り巻く現状について固定種・在来種を扱うタネ屋の3代目、野口勲さんにお話を伺いました。また、シリーズ第3弾を実施します。詳しくは下段をご覧ください。

タネ屋のそもそもの始まりは、大体1700年頃です。本来お百姓さんというのは一番よくできた野菜を一番高く売りたいわけです。しかしある人は、一番よくできたものは翌年のタネにする、2番目のものを自分たち家族が食べて味を確かめる、3番目にできた野菜を販売するというのを始めました。近所や周囲の人がその人にタネを譲ってほしいと言うようになり、お百姓さんの中からタネ屋が生まれました。

「一粒万倍」 タネ屋とタネの歴史

昔からタネ屋の世界では、「タネは一粒万倍」という言葉を使ってきました。1粒のタネをまくとそれが翌年には1万粒になるという意味です。お米からきている話ですが、お米の場合、大体7千粒ぐらいですが、それを一粒万倍と言ってきました。1粒の健康なタネが1年で1万粒に、その1万粒のタネをまたまくと、2年後には1万倍で1億粒になる。3年目には1兆粒になり4年経つと1京粒という天文学的な数字になります。

「一粒万倍」

明治時代になって、欧米のタネが日本に入ってきました。戦後には、アメリカでF1種(交配種)というタネが販売され、日本にも広がりました。今では皆さんが食べる野菜のほとんどがF1種の野菜です。そうなるまで野菜のタネは採るものじゃない、買った方がいいということになり、日本でタネ採りをする環境がどんどん減っていききました。2000年代になり、遺伝子組み換えがだんだん広がってきました。

「タネの種類」

- ・「在来種」…農家が自家採種してきたタネ。交雑して変化していることも多い。
- ・「固定種」…タネ屋がこれは本来こういう形だったはずだと遺伝子を固定したタネ。固定種というのはタネ屋が使った言葉で、遺伝子が固定されたいいタネだというタネ屋の自慢の意味もあります。これは受粉を自然に任

〈食の安全と安心を考えるシリーズ3〉

「遺伝子組換え食品の現状」

—私たちのイメージは正しいのか?—

講師 にゅうのや 丹生谷 博 (東京農工大学)

世界の穀物需要は、バイオ燃料への利用や新興国の経済発展による食糧需要の急増により、資源争奪戦といえます。そうした中、遺伝子組換え技術は展開されてきましたが、「遺伝子組換え食品」について、どのようなイメージを持っているのでしょうか。あまり良い印象をもっていない方もいるかと思います。ただ、本当のところはどのような知る機会は少ないのかもしれませんが。

今回の講座では「遺伝子組換え食品」が、どのように作られ、どのように使われているのか、さまざまな情報がある中で、私たち自身が正しく判断できるよう、今回は遺伝子工学の観点からお話をうかがい、食の安全・安心について考えていきたいと思います。

とき 3月9日(日) 昼2時~4時 ところ 公民館 3階講座室
申込先 2月12日(水) 朝9時~ 公民館 ☎ (572) 5141

せたタネです。

・「F1種」：人工的に異品種をかけあわせて作った雑種（ハイブリッド）という意味。F1という言葉は First Filial Generation、雑種の一代目ということですが。交配種、一代雑種ともいいます。

・「GM (Genetically Modified) 種」：遺伝子組み換えされたタネです。

たとえばそろいを良くするため F1 を作るうと、金町小カブにかけ合わせるのにヨーロッパの家畜用のカブが選ばれました。形が整って大きさも市場の相場に合わせられ、出荷しやすくなりました。しかし、家畜用のカブは皮が硬かった。これまでは丸ごと漬けていたけれど、F1 の時代になってから日本料理のレシピが変わり、カブは皮をむいて使いたしようにということになりました。

また、F1 は病気に強いと言われますが、F1 だから病気に強いわけではなく、特定の病害に対して耐病性をつけたものとかけ合わせることで強くなるということです。

一方、固定種は何千年何万年と人間がおいしいからタネを採り続けてきたのですから、本来の野菜の味があります。それと同時に遺

伝子がほとんど同一です。植物は土地に根を張って動かせませんから、その土地に適応した子孫をつくるのが本来の生命だった。それが商品化には向かないと固定種のタネもどんどん少なくなっています。これを何とか復活させたいというのが、今の私の願いです。



固定種とF1種は どう違うのか

固定種というのは、とにかく一粒が多様性を持っています。同じお父さんとお母さんから生まれた子どもでも、太っていたり痩せていたり背が高かったり低かったり、おじいさんに似たのが生まれたり。これが本来の生命です。同じ袋に入っているタネでも、できる大きさや、成長の速度はまち

二代雑種の利点	固定種の利点
そろいが良い(出荷に有利)	味が良い(伝統野菜の場合)
毎年種が売れる(メーカー利益)	自家採種できる
生育が早く収穫後の日保ちが良い(雑種強勢が働いた場合)	多様性・環境適応力がある
特定の病害に耐病性をツナグす	長期収穫できる(自家菜園向き)
特定の形質を導入しやすい	様々な病気に耐病性を持つ個体がある
作型や味など流行に合わせたハイブリッドを作しやすい	オリジナル野菜が作れる

まちです。収穫の時はいちいち葉っぱを持ち上げて、太りぐあいをしながら、間引きながら収穫します。間引いたところでのんびりしたのがやがて育ちます。したがって、一度にタネをまいても長い期間収穫できるんですね。これは収穫の手間がかかりませんが、家庭菜園には適しています。

一方、F1 の場合にはほとんど同じ大きさにみんな生育します。だからその畑の全部を引っこ抜いて束ねて出荷するということができのわけです。いま農家のほとんどは F1 の野菜を使う時代になりました。使い方の向き不向きがあるのです。

タネのビジネス

F1 はメンデルの優劣の法則（※1）によって優性形質だけ出るので非常にそろいがよくなります。しかし、翌年そのタネから育てるとメンデルの分離の法則（※2）によって、優性形質1に対して劣性形質1、雑種が2の割合になります。こうなると大きさや形がバラバラで売り物にはなりません。すると F1 の野菜のタネは毎年メーカーから買わなくては行けない。メーカーは確実に利益があるということになります。

F1 をつくる時、雑種強勢という力があります。雑種になると大柄になったり生育スピードが速まって収量が上がります。この雑種強勢を働かせるためには遠く離れている遺伝子をかけあわせると、その力が強く働きます。こうして売り物になりやすい整ったものが作られます。

また、F1 では変った形の野菜を作りやすい。元となる固定種がなくなったらできないことですが、とにかくかけあわせれば、変ったもの、消費者の目を喜ばせるようなものを作りやすい。珍しいものをつくって売り出すということができます。こうして F1 は増えていくのです。

※1 メンデルがエンドウの交配実験から明らかにした遺伝の法則。対になる形質のものを交配すると雑種第一代では優性形質が顕在して劣性形質が潜在するという優劣の法則。
※2 雑種第二代では優性・劣性の形質をもつものの割合が3対1に分離して現れる。



F1はどうかやって つくられてきたか

① 人為的除雄(両全花のナス科) ナス科の花は両全花といって一



参加者の様子

つの花の中に雄しべと雌しべがあります。雑種にするために花がほぼみの中にほぼみを開いて雄しべを全部抜きます。雌しべだけに残った花が成熟した時に遠く離れた系統の花粉を付けます。

② 人為的除雄(雌雄異花のウリ科)

ウリ科の花は一粒の種から芽を出してつるが伸びたその先に雄花と雌花が別々に咲きます。この場合、雄花の方は全部つぼみのうちに切って捨てられるか、開かないようにつぼみを洗濯バサミのようなもので閉じられます。雌花が咲きそうな時に、遠く離れた別の系統の雄花を集めて花粉をつけます。たとえば昔のスイカには縞がありませんでした。旭大和というスイカは甘くておいしいけど皮が薄

く運ぶ際に割れてしまう。皮を強くしようと縞のあるスイカを合わせて、今では日本中に広まりました。

③ 自家不和合性の利用(アブラナ科植物専用・日本独特のガラパゴス技術)

菜の花が咲くアブラナ科野菜は自分の雄しべの花粉を雌しべにつけてもタネが採れません(自家不和合性)。近親婚を嫌がる性質が強く、別の菜の花の花粉だとタネをつけます。この性質を利用して、畑にカブと菜つばを交互にまきま

す。するとカブの花粉で生まれた菜つばと、菜つばの花粉で生まれたカブの2種類ができます。

これらの野菜はほとんど日本にしかなく、この技術も日本独特のもので。もとは地中海原産のカブですが、キリスト教の地域ではカブやダイコンのように土の中に



二酸化炭素の利用

このようにF1をつくるには手間

がかかります。30年前は何十人もがハウスで一日中花粉をつける作業をしていました。F1は大企業が多くの人件費をかけないといけないと思われていました。ところが、今は「二酸化炭素」を使うそうです。ガスが漏れないようにしたハウスに二酸化炭素を入れます。人間は酸欠になる濃度です。植物も同じで、本来は自分の花粉でタネをつけないものもその性質が狂って自分の花粉でタネをつけるようになります。そこにミツバチを入れます。ミツバチは酸欠にならずに活動できます。



異常な花から生まれた

雌性不稔技術

雌性不稔とは雄が実らない、分りやすく動物でいうと男性の不妊症、無精子症です。何らかの異常で雄しべがなくなった花を利用して技術です。植物はほとんど雌雄同体なので雄しべがなくても雌しべが他の花粉をもらってタネをつくれます。雌性不稔は交配して

よく見ると雄しべがありません。この雄しべのないものの子孫が世界中の母親として使われ広がりました。タマネギを買って植えてみてください。春になるとネギ坊主が咲きます。その一つ一つの花をルーペで観察すると雄しべがありません。そういう野菜を食べる時代になったということです。

同じようにアメリカでは雌性不稔のトウモロコシ、テンサイ、ニンジン、ラディッシュなどが見つけられ、これを母親としてF1野菜が作られています。



放射線の利用

キク科の花はヒマワリやタンポポのように一つの花に見えるのが

筒状の何百もの花の集まりです。キク科とマメ科は、雌性不稔が見つかるとまでは放射線をかけて突然変異を起こしていました。たとえばキク科のゴボウの芽に放射線をかけて生まれたのがアクのない



講師の野口さん

短いゴボウです。ゴボウにとって長くなる遺伝子もアクを出す遺伝子も何かしら必要だったのでしょうが、短いゴボウは大評判のようです。また、マメ科でも納豆用の豆に放射線をかけ小粒納豆ができました。



コム

雌性不稔のお米はF1と言わずにハイブリッドライスと言います。

中国で栽培されている稲の全面積の58%、アメリカで栽培されている稲の全面積の39%がハイブリッドライスです。日本の場合減反政策やF1のタネの金額が高いことなどから1%未満です。



世界の種田会社 売上ランキング

1997年とその10年後のランキングを比べると、ハイブリッドライスのタネを売っている会社と遺伝子組み換えをやっている会社が10年で売り上げを伸ばしていることが分かります。

「タネを支配するものは世界を支配する」という構図があります。タネは自家採取するものではなく買うものだという事になると、タネを支配すれば食糧を支配し、

世界の食糧支配ができれば世界を支配できるというわけです。具体的な事例として、例えば韓国でしか売れないキムチ用のハクサイやダイコン。これは東アジアにしかない植物です。欧米の会社が必要ないと言ったら韓国の食文化に影響します。日本のたくあんもそうなるかも知れません。



子孫のために

僕はタネ袋にタネの採り方を書いています。皆さんでそのタネの遺伝子が生き残るようにしてほしい。仮説ですが、雌性不稔のタネを食べ続けると人間も子孫がいなくなるかもしれない。その時に大会社の売っているタネしか残っていないと世界はもう後戻りできない。個人で何粒かでも残していれば、健康なタネは1年で1万、2年で1億と人間の健康を取り戻すことができるのです。食べ物が人間の身体をつくり、食べ物が子どもをつくっていきます。なるべく健康な食べ物を子孫のために残してください。タネを採ってください。自家採取してくださいと言っています。変なタネ屋のお話でした。

〈図書室のつどい〉

生命とは何か

—「生命科学」が進む先—

講師 田沼 靖一 (東京理科大学)

近年注目を集めている再生医療や遺伝子治療など、生命科学の発展が新たな医療の道をひらきつつあり、生命の根幹に関わるところまで技術が進んできています。これらの技術をどう利用していくか、社会の中でよく考えていく必要があると田沼さんは述べています。生命科学の最前線を正しく理解し、「生命とは何か」という問いに対して主体的に考える機会にしましょう。

〈田沼さんの本〉

『生命科学がひらく未来』(共著、東京書籍)、『ヒトはどうして死ぬのか—死の遺伝子の謎』(幻冬舎)ほか

とき 2月15日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室 定員 35名

*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

映画の音響効果学

—見えない声から何かが見える?—

講師 片岡 佑介 (一橋大学大学院生)

音楽、効果音、ナレーションなど映画はさまざまな音響効果に彩られています。この講座では、映画を「見る」ときに忘れられがちな音声に注目し、音声から映画の仕組みを考えます。講師は現役の院生で映画研究がご専門の片岡さんです。

入門編の初回はホラー映画のお話。見えないおぼけの声を頼りに、無声映画から現代まで映画史をたどっていきます。2回目は片岡さんの専門の原爆映画のお話。1950年代の原爆映画に込められた、平和や教育などの願いを映画音楽から分析します。

とき 2月22日、3月8日(全2回)

いずれも土曜日、昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室

定員 35名(申込先着順)

申込先 2月7日(金)朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈一橋大学大学院生による講座〉

国立市内の一橋大学では、研究者を目指す大学院生が日夜研究に励んでいます。そこで公民館が架け橋となり、若手研究者と地域社会との交流講座を企画しました。最新の研究動向に触れるもよし! 参加者が修行中の院生にアドバイスするもよし! 院生が講師となって専門分野をご紹介します。

〈男性の料理教室 in 南市民プラザ〉

和風料理—カキご飯ほか

ご希望のあった和風料理の基本を取り入れた料理です。カキご飯、小松菜と車麩の煮物、豆腐の味噌汁、かぶの酢の物を作る予定です。初めての方もご参加ください。

講師 北川 みどり (管理栄養士)

とき 2月23日(日) 朝10時～昼1時

ところ 南市民プラザ 調理実習室

※会場が通常と異なります。ご注意ください。

定員 16名(先着順)

費用 一人700円(予定額)

2月20日(木)までに公民館の窓口でお支払い下さい(受付:月曜日、祝日以外の朝9時～夕5時)。講座当日にお支払いはできません。費用の精算は講座当日いたします。食材購入後のキャンセルは払い戻しできません。

持ち物 エプロン、三角巾(タオル、バンダナ可)、筆記用具、ポリ袋(ゴミ持ち帰り用)

申込先 2月7日(金)朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈シネボックス 公民館映画会〉

《シリーズ「ニッポンの記録映画」vol.39》

『日本解放戦線・三里塚の夏』

1968年 白黒108分

監督 小川紳介

撮影 大津幸四郎、田村正毅

小川紳介監督率いる小川プロが、千葉県三里塚に移り住み、地元の農民たちによる成田空港建設反対闘争を描いた「三里塚」シリーズ(1968年～77年)の第一作。小川紳介は撮影に当たって、客観的に事実を伝えるという報道的な視点をかなぐり捨て、徹底して農民側の視点に立ってカメラを廻した。その執念とも言えるカメラアイがとらえた農民たちの姿が、単なる闘争の記録のワクを超えて、観る者の心を激しく揺さぶる。戦後の日本の記録映画のひとつの到達点を示す傑作。



とき 2月23日(日) 昼2時～

ところ 公民館 地下ホール

定員 85名(当日先着順)

*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

【10代後半～30代の若者対象】

自分で守る、自分を育む働く場

—いま、若者が働くということ—

就職氷河期、非正規雇用、不当な雇止め、過重労働やブラック企業。若い人たちの働くこと、働き続けることをめぐる現状は暗い話題が尽きません。考えたくないけれど、自分がいつその話題に仲間入りするかわからないのも事実。では、そうなってしまったときどうするか。

講師の河添誠さんは、“一人でも誰でもどんな働き方の若者でも入れる労働組合”「首都圏青年ユニオン」の立上げに関わり、不当解雇された若者の支援をしてきました。こうした若者たちは、支援を受けながら仲間と共に、再び「働くこと」を取り戻してきました。

この講座では、働くこと・働き続けることの困難に陥ったときにどう対処することができるのかを学びます。一人で抱え込んで泣き寝入りしないように。ぜひご参加ください。

講師 河添 誠 (首都圏青年ユニオン)

とき 2月23日(日) 昼2時～4時半

ところ 公民館 1階青年室

対象 10代後半～30代の方 定員 25名

申込先 2月8日(土) 朝9時～電話・メール可

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

メール a20@whi.m-net.ne.jp

【10代後半～30代の若者対象】

今日、ご飯つくってみる？

—「自立生活」に向けたファーストステップ—

「自立生活」に食事づくりは欠かせないものですが、経験がないと一見とても大変そうに思えます。

今回は、国立市内で若者や学生と共に「ごはんを作って食べる」活動をしているグループ「おかんめし。」の方々にお越しいただき、つくり方を教えてもらいます。

「おいしく」て「かんたん」、そして日常生活を送るうえで役立つ“一汁一菜”の食事をつくります。買い物から一緒に楽しみながら、みんなでつくって食べませんか。自炊のきっかけをつかみたい方、みんなで食事をつくって食べたい方のご参加をお待ちしております。

一緒に料理を作ってくれる仲間

「おかんめし。」のメンバー

とき 2月23日(日) 夕5時～9時

ところ 公民館 3階実習室

対象 10代後半～30代の方 定員 5名

持ち物 500円(食材費)、あればエプロンなど

申込先 2月8日(土) 朝9時～電話・メール可

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

メール a20@whi.m-net.ne.jp



〈公民館・未来夜話 第3回〉

人と人をつなぐ地域メディア デザイン会議

今日、インターネットを介したコミュニケーションは、人と人をつなぐ役割を果たしています。また、まちのフリーペーパーや広報誌、公共的な施設や空間も、人と人が出会い交流して、コミュニティを豊かにしていくためのデザインが求められています。

こうした時代のなかで、人と人をつなぐコミュニケーションや学習・文化の情報共有がより活性化するためになにができるか、これが今回のテーマです。前半は、(株)JR中央ラインモールが中央線沿線住民の人たちと一緒に、エリアマガジンの発行、ウェブサイトやイベントなどの運営に取り組む「ののわプロジェクト」をケーススタディとして共有します。後半は参加者全員で、まち・ひと・学びのメディアの未来について熟議します。

●第1部 事例「緑×人×街 つながるメディア」

講師：(株) JR中央ラインモール「ののわプロジェクト」鈴木幹雄、菱沼秀行

●第2部 熟議「地域メディア・デザイン会議」

参加者は関心のあるテーマ別のテーブルに集まり、講師や公民館の職員と共に熟議します。

とき 2月25日(火) 夜7時～9時30分

ところ 公民館 地下ホール 定員 35名

申込先 2月7日(金) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

三原色で描く

キミ子方式水彩画展

講座「シルバー学習室 第34期」の水彩画展を行います。三原色(赤・青・黄色)と白の絵の具で誰でも絵が描ける“キミ子方式”で描いた「もやし」「イカ」「毛糸の帽子」などを展示します。

障害者センター「あさがお」、キミ子方式水彩画サークル「絵筆の会」との合同展です。

どうぞおいでください。

*「シルバー学習室」は市内に住む高齢者の方を対象に、水彩画、料理、リトミック、自然観察、歴史、高齢者問題などを学んでいく中で、新たな自分の発見や、受講者同士の交流・仲間づくりをしていく講座です。



じっくりイカを見ながら

期間 2月18日(火)～23日(日)

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

連絡先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

障害者センター ☎ (573) 3 3 4 4



くにたち野鳥観察団

—ハケ周辺の野鳥—

郷土文化館から古民家、ママ下湧水までハケ沿いを歩きながら、この時期に見られる野鳥を観察します。



1月の多摩川の観察会

講師 相馬 尚教
(府中市郷土の森博物館 自然観察指導員)

とき 3月9日(日)朝9時~11時ごろ
ところ 郷土文化館から古民家、ママ下湧水
集合 郷土文化館前
解散 ママ下湧水
持ち物 筆記用具、お持ちの方は野鳥図鑑、双眼鏡等
定員 25名(先着順)
申込先 公民館☎(572) 5 1 4 1

*少雨実施。雨天の場合は郷土文化館で映像を見ながら、講師の方のお話を聴きます。

昨年(2013年)の公民館だより12月号でお知らせしたとおり、長年の懸案であった公民館1階のトイレが女性用、男性用とも和式から洋式に改修中です。
今月の28日(金)にはすべての作業が終了する予定です。今少しの間ご不便をおかけしますがよろしく願います。
改修期間中はしようがいしゃ用トイレか1階以外のトイレをご利用ください。

公民館1階のトイレが
キレイになります

〈社会体育事業〉

「街を・山を歩く」第4回

とき 3月13日(木) <雨天中止>
ところ 一橋大学西門前 朝8時30分集合
実施場所 武蔵五日市方面
対象 市内在住、在勤者
申込み 日程、コース、申込方法等、チラシの内容をご確認いただき、参加希望の方は下記までお申し込みください。
チラシは市役所3階生涯学習課、公民館、市民総合体育館、北・南市民プラザで2月19日(水)より配布しています。
申込期間 2月24日(月)から3月7日(金)まで
申込・問合せ先 国立市教育委員会 生涯学習課
社会教育・体育担当☎(576) 2 1 0 7 (直通)

〈ポスト「3.11」 社会のカタチ 私たちのオモイ〉 被災地は、いま

—原発避難と国民の「不理解」をめぐる—

講師 山下 祐介 (首都大学東京、都市社会学)

東日本大震災から3年が経とうとしているいま、被災地では「復興」の名のもとに公共事業を中心とした政策が押し進められています。失われた経済の修復と雇用の創出が図られている一方で、多くの被災者・避難者の声が置き去りにされ、いわば「人間なき復興」が進んでいると山下さんは指摘します。またメディアや一般国民による原発事故の理解のあり方も避難者を追い込む状況にあるといいます。

被災者・避難者の生活再建と地域再生のため、この国の未来のためにいま私たちにできることは何でしょうか。今回は「3.11」後の社会のあり方を、原発事故問題の複雑さ・難しさを知ることから考えてみたいと思います。

〈山下さんの本〉『人間なき復興』共著(明石書店)、『原発避難』論共著(明石書店)、『東北発の震災論』(筑摩書房)、『限界集落の真実』(筑摩書房)ほか

とき 3月6日(木)夜7時~9時
ところ 公民館 地下ホール 定員 50名(先着順)
申込先 2月8日(土)朝9時~
公民館☎(572) 5 1 4 1

〈ポスト「3.11」 社会のカタチ 私たちのオモイ〉 「架け橋 聞こえなかった3.11」映画上映と監督講演

東日本大震災で被災した聞こえない人取材したドキュメンタリー映画の上映と今村彩子監督のお話を伺います。詳細は3月号でお知らせします。

とき 3月16日(日)昼2時~5時
ところ 公民館 地下ホール ※ご自由においでください

公民館運営審議会報告

1月14日(火)第15回定例会を開催。委員13名、館長、職員1名が出席。
前回の議事録確認

訂正等、指摘事項は特になし。

議題

審問「現代地域社会に求められる公民館の事業」について

委員長、副委員長より答申(案)の前段部分の報告がおこなわれ、次いで3つの課題別小委員会から討議内容等の経過報告がなされた。引き続き各小委員会討議をすすめていくこととなった。

報告事項

○国立市公民館図書室運営規則一部改正について
○公民館だより編集研究委員会

タイトルが見やすくなった等の意見があったことなどが報告された。

○社会教育委員会の会
12月27日に定例会を開催。これまでの学習を踏まえて地域の家庭教育の支援をどのようにおこなえるのか、答申に向けた議論が行われた。

○東京都公民館連絡協議会
第2回研修会のアンケート集計結果について報告があった。1月18日(土)に研究大会を国分寺で開催。国立から委員7名、館長ほか職員6名が参加予定。
次回の定例会は、2月11日(火)午後7時15分から。傍聴をお待ちしています。

(丹野)

ひるば

(8ページにもあります)



シジュウカラの親(右)と子(左)

撮影 中島徹也さん (西)

第18回光遊会写真展示会

私達は郊外・景勝地散策、イベントで写真撮影会をしています。写真展示会を行いますので、ご覧いただければ幸いです。

日時 2月25日(火)～3月2日(日)

朝9時～5時

場所 公民館 1階ロビー

連絡先 加藤(572) 4728

パソコンファミリー会員募集

初心者レベルから中級レベルまでの実力を養成できます。趣味や就職・転職にも対応できる内容です。ノートパソコン持参で、楽しく一緒に学びませんか。

日時 第一、二、三木曜朝10時

場所 公民館 3階中集會室

連絡先 吉田(571) 5313

やさしい英会話

英会話は頭の体操。一緒に楽しくステップアップしましょう。月四回、二回は外国人講師です。①初級クラス ②中級クラス若干名募集。詳細はお電話で。

日時 火曜日①2時～②3時半

場所 公民館 3階中集會室他

連絡先 三好(848) 4632

EJデジカメ 会員募集

デジカメで撮影した風景や草花などの画像を持ち寄って、会員同士で講評したり、画像をパソコンで加工する方法を習得したりしています。現在、会員募集中。

日時 毎月第二、三金曜日昼1時

場所 公民館

連絡先 伊藤(574) 9096

端唄俗曲唄の会

「かつぽれ」「奴さん」などよく知られている唄を皆さんと一緒に楽しく唄う愛好会です。国立在住の60歳以上の方ならどなたでも入会できます。月会費500円

国立泉句会

五七五の俳句を自由に楽しく作りませんか。花の名前や漢字も自然とおぼえるようになります。初心者の方もお気軽においで下さい。五句持参。見学無料。会費千円

日時 毎月第三日曜日 昼1時

場所 福祉会館3階

連絡先 田中(577) 7018

「太極操サークル」会員募集

ゆったりとした動きの太極拳は健康・美容に効果が高く、老若男女を問わず人気があります！初心者の方も安心して習えるレッスンです。まずは体験を！

日時 金曜日 昼3時～5時半

場所 総合体育館 第3体育室

連絡先 山田090(343) 0339

手前みその会

みそを手づくりしたいけどムズカシそう！と思ってる方。皆と一緒に自家製みそを手作りしましょう！申込み2月17日(月)まで。材料費他150円程度の予定です。

日時 2月25日(火)昼1時

場所 スペースF

連絡先 藤井(573) 4010

日本人にとっての朝鮮学校

高校無償化からの排除や自治体補助金停止が続く朝鮮学校。朝鮮学校はなぜあるのか、佐野通夫さん(植民地教育史)のお話を聞いて考えます。主催 ハムケ・共に

日時 2月9日(日) 昼2時

場所 公民館 3階講座室

連絡先 上村090(1814) 8371

憲法とわたしたち連続講座No.42

戦後の歴史上、最も重大視される特定秘密保護法案が暮に可決。緊急学習会Ⅱ9条・20条を中心に建国記念の日に西川重則氏を講師に討論会を開きます。資料代500円

日時 2月11日(火)昼1時半～4時

場所 公民館 地下ホール

連絡先 同実行委(574) 9210

くにたちエネシフカフェ

地球温暖化の問題と市民発電所づくりについてNPO法人PV・Net田中稔さんを講師に招いて考えます。

日時 2月11日(火)昼2時～4時

場所 公民館 3階講座室

連絡先 藤井090(475) 0326

掲載写真募集中!

「ひろば」に掲載する、国立のまちな風景や行事、自然などの写真を募集しています。毎月1、2枚掲載予定です。ご協力いただける方は、公民館までご連絡ください。

今月の公民館 (2月、3月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 2月15日(土) 昼* 図書室のつどい「生命とは何か」
- 16日(日) 昼* 「生きづらさ」を抱える若者を支える
映画会『十五才 学校Ⅳ』
- 18日(火) ~ 23日(日) キミ子方式水彩画展
- 22日(土) 昼~ 「映画の音響効果学」
- 23日(日) 朝 男性の料理教室 in 南市民プラザ
「和風料理一カキご飯ほか」
- 23日(日) 昼* CINEVOX公民館映画会
『日本解放戦線・三里塚の夏』
- 23日(日) 昼 青年講座
「自分で守る、自分を育む働く場」
夕 「今日、ご飯つくってみる？」
- 25日(火) 夜 「人と人をつなぐメディアデザイン会議」
- 3月6日(木) 夜 「被災地は、いま」
- 3月9日(日) 朝 くにたち野鳥観察団「ハケ周辺野鳥」
- 9日(日) 昼 「遺伝子組換え食品の現状」

モス
撮影 中島徹也さん(西)



ひろば
(7ページにもあります)

L・G・B・Tについて考える

教育者向けのDVDを見ながら
レス・ゲイ・バイ・トランスジェ
ンダー等のセクシュアルマイノリ
ティーの問題について考えます。
参加費500円 主催スペースF
日時 2月14日(金)夜7時~
場所 スペースF
連絡先 遠藤(573) 4010

むかしMattoの町があった

精神病院の廃止を成し遂げたイ
タリア精神保健改革の最初の20年
を描く映画です。200分の大作。資
料代千円2回上映。主催 国立で
バザリア映画を自主上映する会
日時 2月15日(土) ①13時②18時
場所 福祉会館 4階大ホール
連絡先 瀧柳080(5048) 9031

国際友好会WINGの会

二月のWING異文化コミュニ
ケーションの会は、留学生の陳忠
勇さんをお招きして台湾の文化に
ついて話し合います。参加費は100
円です。
日時 2月20日(木)夜6時半~
場所 一橋大学 国際交流会館
連絡先 芦沢(576) 0474

地震と原発―連続映画上映会No.1

「原発被災地になった故郷への
旅」放射能に汚染された故郷―そ
れでも風景はやさしく美しい。双
葉高校出身で太宰治賞受賞の志賀
泉氏のお話と上映会。資料代500円
日時 2月21日(金)夜6時半~9時
場所 公民館 3階講座室
連絡先 大貫090(6030) 9509

第100回くいしんぼクラブ
キムノヒョンさんの韓国料理

寒い季節にぴったりの鍋料理を
習いましょう。材料費800円。ふき
んとゴミ袋をご持参下さい。
日時 2月22日(土)昼1時~
場所 福祉会館 3階料理講習室
連絡先 八宮(571) 1007

「図書館と公共図書館の時代」

図書館は本を借りるだけではあ
りません。公共図書館の今日的機
能について元浦安図書館長の常世
田良さんのお話を聞いて考えます。
主催 国立の図書館を考える会
日時 2月23日(日)昼1時半~
場所 中央図書館 2階集会室
連絡先 鈴木(576) 4015

しおりの会
(サークル訪問2010)

軽快な音楽とともに幕が開き、
かわいらしい手作りのやぎ達が
登場した。しおりの会による人形
劇「二匹きのやぎのがらがらどん」
の始まりだ。子ども達の百の瞳が
舞台をじっと見つめている。悪役
トロルの登場には泣き出す子もい
て、もうすっかりお話のとりこだ。
そしてお腹いっぱいになったやぎ
達の幸せな様子で幕が閉じた。
人形の動きが絶妙で、見ている
方は笑顔になるが、舞台上で人形
を操るのは容易ではない。それで
も子ども達が絵本に興味をもつき
っかけになればと、長年続けてい
るイベントの一つだ。

二番目の「ましろおくりもの」
の大型絵本の読み聞かせでは、読
みの合間にベルの音色が入り、ク
リスマスムードを高めた。

三番目は「おつかい」の劇。絵
本に出てくる小道具が実際に次々
に出てきて目が離せない。そして
会場に「あわてんぼうのサンタク
ロス」の歌声が響き、サンタさ
んが現れた。子ども達は手作りの
プレゼントをもらい、満足げに会
場を後にした。

しおりの会は、北福祉館が開館

した時に設置された図書館北分室
で読み聞かせの会として発足した。
月一回の定例会では国立第四小学
校の学童の子ども達に折り紙を教
えている。毎月第三水曜は北市民
プラザ図書館の「絵本の会」での
読み聞かせ、北文化祭では古本市
を開催し、ユニセフ等へ寄付をし
ている。そして今回取材した冬の
おたのしみ会を開催、30年以上北
福祉館を拠点に活動が続けてきた。
現在、部員は7名。発足当初か
らの会員と、親子ほど歳がはなれ
た会員と、活動を通しての交流の
場でもある。入会希望の方、どな
たでも大歓迎とのこと。

連絡先 高松(576) 2899

〈文・写真 石井 直美〉



絵本が大好きになりますように☆